

オフグリッド型ソーラーシェアリング によるスマート農業へのチャレンジ

コンソーシアム名称：

『静岡茶畑ソーラーとスマート農業コンソーシアム』

代表機関 (株)流通サービス

構成員 (株)リフィックス

事業の概要

	事業化の内容	SDG s 貢献と事業化の関連性	事業化目標年度
① オフグリッド型ソーラーシェアリング事業	<ul style="list-style-type: none">茶畑でのソーラーシェアリング発電した電力を生産プロセス用電力として活用	<ul style="list-style-type: none">脱炭素化と畜電化した電力の生産プロセスへの利用災害時に地域へ開放	令和5年度 (令和4年度)
② 電動遮光カーテンシステムの開発	<ul style="list-style-type: none">開閉を伴う被覆茶の被覆作業の自動化	<ul style="list-style-type: none">労働環境負荷の軽減労働力不足解消良質な茶葉栽培への貢献	令和6年度
③ 自動走行草刈り機の開発	<ul style="list-style-type: none">畝間の雑草の草刈りを自動化芝刈り機等の改良による茶園専用自動草刈り機の開発	<ul style="list-style-type: none">労働環境への負荷軽減と労働力不足解消有機農法非対応肥料や農薬の代替としての活用畝間の雑草の堆肥化	令和6年度





海外で大人気の有機抹茶が
足りません。

- ・耕作放棄地の解消。
- ・電力不足解消
(カーボンニュートラル)
- ・有機栽培
(みどりの食糧戦略)
- ・人手不足解消
(スマート農業)





100年に一度の変革期。
世界は今...

世界では今確実にMATCHA商品や抹茶カフェが増えている

